【健康経営戦略マップ】

作成年：2026年

健康投資

健康維持・増進

- ラジオ体操
- 健康づくり情報発信、セミナー動画公開
- ウォークラリーイベント開催
- スポーツジム法人会員
- 日本健康マスター検定受験費用補助
- セルフケア、ラインケア、ハラスメント研修

疾病予防

- 人間ドック費用補助
- 配偶者人間ドック費用補助
- 再検査、精密検査費用全額補助
- 歯科検診費用補助
- 婦人科検診費用全額補助
- 健康診断結果のデータ管理
- 特定保健指導就業時間内受診
- 禁煙外来受診費用補助

重症化予防

- 健康保険が適用される医療費の全額補助
- ハイリスク者保健指導
  （統括産業医、産業保健師による社内独自の保健指導）

環境整備

- 身体的負担の軽減と安全で快適な職場環境の整備
- ウェルビーイング休暇
  （心身の健康維持・増進、再検査受診、通院等に利用できる特別有給休暇）
- カフェテリアプラン（選択型福利厚生制度）
  （健康増進、医療、子育て、介護カテゴリ）
- 子の看護等休暇（有給、1人目から10日付与）
- 介護休暇（有給、1人目から10日付与）
- 社内メンタルヘルス相談窓口
  （公認心理師と契約）
- 社外健康相談窓口
  （従業員の家族も利用可能）

健康投資の効果

健康投資施策の取組み状況に関する指標

- 定期健康診断受診率
- 再検査、精密検査受診率
- ウォークラリーイベント参加率
- セルフケア、ラインケア、ハラスメント研修受講率
- カフェテリアプラン健康増進、医療カテゴリ利用率
- 社内メンタルヘルス相談窓口認知率
- 社外健康相談窓口認知率

従業員の意識変容・行動変容に関する指標

- 月平均1日8,000歩以上の歩行者率
- 日本健康マスター検定取得者率
- ストレスチェック受検率
- 高ストレス者面接指導申出率
- 習慣的な喫煙率
- 朝食欠食者率
- 特定保健指導該当者率
- 特定保健指導実施率

健康関連の最終的な目標指標

- プレゼンティーズム損失率低下
- アブセンティーズム（日数）低下
- 被保険者1人当たり医療費削減

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況

健康経営宣言の認知率

方針実現のための体制・環境

経営会議で健康経営の推進方針に関する議論の実施

サポート・知覚された組織的支援・職場の社会的資本等

上司・同僚からのサポート

従業員の健康課題

- 健康維持、増進
- 疾病予防
- 重症化予防

目標年：2029年

KGI

ワークエンゲイジメント（活力・熱意・没頭）の平均スコア3.0以上

健康経営の目標

- ４つの経営方針「安全最優先」「顧客満足の向上」「社員の働きがい向上」「社会からの信頼獲得」を健康面から支える。
- 従業員一人ひとりが健康で活力を持ち、働きがいを感じられる。

健康経営の推進方針

従業員の心身の健康を重要と考え、働き方改革やワークライフバランスとともに「健康経営」を推進し、明るく活力ある職場づくりに取り組みます。

経営理念

私たちは、鉄道工事を基盤とした「総合建設業」として、安全・安心を最優先に考え、社会資本の整備、創造と地域社会の発展に貢献します。また、技術革新並びに幅広い人材育成に努め、社会とともに発展し続ける会社づくりを目指します。